

労災かわらばん

2014

— 晩秋号 —

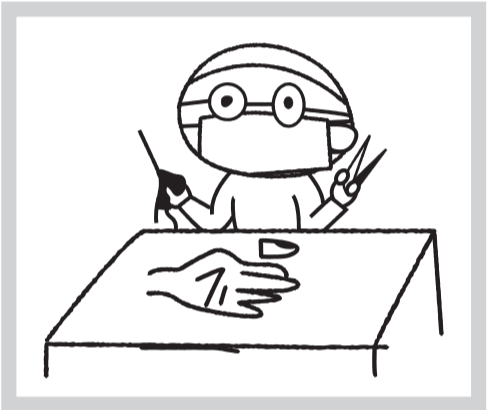
Vol.41 発行日/平成26年10月27日 編集/釧路労災病院新聞局

手外科って何をやっている科ですか？

整形外科 手外科センター 部長 本宮 真



手外科とは、怪我や病気などで失われた手指の機能を、様々な手段を用いて再建することを旨とする学問です。ひどい怪我でぐちゃぐちゃに変形した手指、神経損傷や腱損傷で動かなくなった手指、指自体がもげてしまった手。一昔前なら、「命が助かって良かったしよ。最初がその怪我じゃ、仕方ないっしょ。」と諦められていた手指の機能。今は、もげた指をつなぐこと（切断指再接着）ができるし、無くなった親指を足趾の一部で作りに出す治療（足趾移植術）も確立しています。また、動かない指を動かすのに他の腱を分けてもらう方法（腱移行術）もあります。手指の外観・動き・感覚など完全に元の手指に戻すことはできませんが、残った組織や機能を利用して失われた機能を再建する手外科の治療方法



は、信じられないほどたくさんあります。

「この変形・障害にはどの治療が一番いいんですか？」 同じ変形や機能障害でも、患者さんによって社会的な背景は様々です。どこまで治すのか？ どのくらい治療に専念できるのか？ 仕事復帰はいつからか？ 見た目が大事か？ 動きが大事か？ 手術しない方法はないのか？ 疾患に応じた各種治療方法を提示し、長所と短所を説明いたします。命に関わらない疾患がほとんどですので、個々の患者さんのニーズに合わせて、相談しながら治療方法を決めていきます。もちろん、「装具を使いながら、

少し痛いのを我慢して生きていく」、大事な選択肢の一つです。

釧路は漁業や酪農といった1次産業の盛んな地域で、労働災害などによる手指の重度外傷や変形疾患は未だ少なくありません。手指の障害は初期治療により最終的な治療成績が大きく左右されることが知られておりますが、命にかかわらない疾患のため安易に対処されてしま

う傾向があります。怪我をしてしまったら、変形・機能障害が生じてしまったら、悔やんでも仕方がないですから、後遺症を少しでも少なく、どのような形で社会に復帰していくのか、をしつかり考えていく必要があります。治療計画を一緒に相談し、リハビリの先生・看護師さんなどと連携を取りながら治療していくのが手外科治療の醍醐味です。

「この変形・障害にはどの治療が一番いいんですか？」 同じ変形や機能障害でも、患者さんによって社会的な背景は様々です。どこまで治すのか？ どのくらい治療に専念できるのか？ 仕事復帰はいつからか？ 見た目が大事か？ 動きが大事か？ 手術しない方法はないのか？ 疾患に応じた各種治療方法を提示し、長所と短所を説明いたします。命に関わらない疾患がほとんどですので、個々の患者さんのニーズに合わせて、相談しながら治療方法を決めていきます。もちろん、「装具を使いながら、



多くの手外科医の先輩たちから良く言われたことがあります。「お年寄りだからもういいだろう」、「初回の怪我がひどいから仕方がない」ではなく、「現在の医療でベストを尽くしたら

どこまで良くなるのか考えろ！」個々の患者さんの手指機能が少しでも改善するよう日々精進しております。少しでも美しく、しなやかで、力強く、かつ繊細な手指の機能再建を目指して、「自分の手」と「手の模型」と「手の教科書」をじっと見つめる毎日です。今後とも手外科センターをよろしくお願い申し上げます。

昨年度より「手外科センター」を開設して1年半が経過いたしました。多くの方のご協力に感謝申し上げます。

手指の痛みや変形があっても、ひどい外傷だから、高齢だから、リウマチだから仕方ない、と諦めてしまっている方、一度外来にいらしてください。北大整形外科と緊密な連携の下、長年培ってきた手外科の技術を駆使して治療に当たります。

当手外科センターでは、上肢に関連したすべての疾患を対象としております。

手指一般外傷（骨折・脱臼・腱損傷）、切断指、先天手足趾奇形、四肢神経損傷、リウマチ手指変形、難治性偽関節、四肢軟部欠損、関節拘縮、など。

手外科疾患でお悩みのごことがございましたら、お気軽に声をおかけください。



** 労災病院ドクター紹介 Vol. 32 **

①職種 ②出身地 ③専門・得意分野 ④簡単な自己紹介・患者さんへ



池田 正起 先生



村田 佳應 先生



矢島 優己 先生

① 歯科医師
② 埼玉県
③ 歯科口腔外科
④ 平成26年10月より勤務させて頂いております。地域医療に貢献できるよう日々の診療に従事して参りたいと思っております。よろしくお願

① 精神科部長
② 釧路市
③ 精神科一般
④ 平成26年6月2日より精神科診療を赴任当初と違うことも有り限定的（完全予約制）に担当しております。今後ともよろしくお願

① 形成外科部長
② 札幌市
③ 形成外科
④ 当科は根釧地区で唯一の形成外科です。決まった臓器に関する科では無いためわかりにくい点もございますが、体の表面の外傷や傷あと、生まれつき体の形の異常や皮膚の感染症などを中心に広く診療を行っています。その他にもあざのレーザー治療や、まぶたが下がってきた方の手術なども担当しております。お力になれるように努力致しますので、ぜひご相談ください。